

平成26年度 部局長マネジメント方針

やまもと よしのぶ
市長公室長 山本 吉伸



仕事に対する基本姿勢

市長公室は市行政の総合調整と重要事項の推進、広報広聴部門を担当しており、平成24年度に設置され、3年目を迎えます。

昨今、多様化する行政需要の高まりの中で、数々の法改正が行われ、それらに基づく新しい施策や事業への対応が、既存の組織ではなかなか困難な状況になってきております。そのことが縦割り行政という批判を受ける一因にもなっています。市長公室はそのような各部署間にまたがる市の重要な施策・事業を推進していくためにも、その総合調整機能を十分に発揮し、連携強化させることにより、施策事業の推進をスピード感をもって実行してまいります。

また一方、市政運営における公正性の確保と透明性の向上を図るためにも、市の政策形成過程において市民が参加する機会を提供するとともに、市民への情報の公開・提供と説明責任を果たすことが必要です。

こうした下、昨年度においては「市政だより」の文字拡大と紙面のカラー化による「見やすく・よりわかりやすい」内容へと改善いたしました。

今年度は、「ウェブサイト（HP）の改善」と「市のイメージアップを図る」ための広報事業の強化に努め、広聴事業でもIT機器を活用した「（仮称）市政モニター事業」の具体化などを重点課題として、その取り組みを進めてまいります。

平成26年度に取り組む重点課題

1 市政だよりの充実

平成25年10月15日号より文字の拡大とカラーページの増刷を実施。今後も市民が見やすく・よりわかりやすい情報紙になるよう努めます。

2 利用しやすいウェブサイト等を構築

総務省から示されているアクセシビリティ規格に準拠したウェブサイトを構築し、障害者、健常者を問わず、全ての人にとって見やすく・よりわかりやすいウェブサイト構築に向けて更に努めます。

サイト改善では、再開したウェブサイト運用管理推進委員会において、サイト担当職員間の意見交流や研修会等を積極的に行い、スキルアップの向上を図りながら、今年6月頃に予定しているウェブサイトのリニューアルに反映し、市民に見やすく・よりわかりやすいサイトへと改善します。

情報発信のツールのひとつでもある Facebook も、内容充実に向けて担当者の定期的交流（交流会議の開催）を図り、よりよい情報発信に努め、さらなる向上を図ります。

3 広聴活動の充実

【「(仮称) 市政モニター事業」による市民ニーズの汲み上げ事業の具体化に着手】

I T機器を活用して市の事業・施策に対する市民の声を市政に反映するため、市民の方よりモニターを募集し、各所管部局において作成したアンケートにお答えいただく「(仮称) 市政モニター事業」の具体化を図ります。

※府下では、大阪市、堺市、枚方市、箕面市において実施

4 市のイメージアップを図る広報に

民間企業等においては、「C I (コーポレートアイデンティティ)」の手法を導入し、その企業の知名度・信頼性の向上を図り、企業のイメージアップに活用されています。

本市においても、「モノづくりのまち東大阪」、「ラグビーのまち東大阪」をより一層全国に発信する広報活動に活用するため、その事業計画の具体化を図ります。